

令和6年度第6回士別市教育委員会会議録

1. 日 時 令和6年8月22日（木）午前9時00分～午前11時00分
2. 会 場 士別市教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 泉 山 浩 幸 生涯学習部長 三 上 正 洋
職務代理者 馬 場 千 晶 学校教育課長 岡 田 詔 彦
委 員 加 藤 洋 之 社会教育課長 千 葉 真奈美
委 員 山 田 敦 久 合宿の里・スポーツ推進課長 徳 竹 貴 之
委 員 多 田 千 鶴

4. 議 件（発言者、議事要旨及び議決事項）

1 教育長挨拶

第6回目の士別市教育委員会会議を開会する。

【参加した各種イベントについて、写真などを用いて説明】

- ・ALTの一人が新しく来られた。よろしく願いたい。
- ・7月中旬、市町村教育委員会研修会に参加した。部活動の地域移行などの話があり、7年度を目途に各自治体の方向性を見出せるよう道教委もサポートしている。
- ・東高校の学校祭が7月にあった。地域密着型でとてもよかった。
- ・3回目の朝日地区の義務教育のあり方についての説明会を行った。この後、市長部局と確認を図り、しっかりと進めていきたい。
- ・全国学力・学習状況調査では、士別の小学校が全国平均を上回り、中学校は下回った。
- ・中学校の軟式野球では、全国大会で南中学校がベスト8まで進んだ。ウェイトリフティング、トランポリンでもよい成績を上げていた。
- ・ダイハツものづくり教室では、体験を交えながら自動車の仕組みを把握していた。
- ・ハーフマラソン大会、みよし市交流事業、生涯学習フェスティバル、チャレンジ寺子屋、日本ハムファイターズキャンプ、サフォークカップ等について情報提供。

本日も、ご審議の方、願います。

2 議事について

○泉山教育長 進行

議案第20号 令和6年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価、令和5年度事業について、説明を求める。

○三上部長

令和6年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検、評価に関する報告書について説明する。8月19日に評価委員会を開催しており、点検評価の内容について説明し、助言などを受けている。

報告書の内容について、各担当から説明させていただく。

【報告書の内容を各担当課から説明】

○岡田課長

評価委員の皆さまから何点かご意見、ご質問をいただいている。

主なものは、外国語指導助手を「ALT」と表記しているが、それ以外にも「ICT」「ネットリテラシー」など難しい言葉があり、日本語表記を入れるなどもう少しわかりやすい表記にしてほしいとの意見のほか、農業学習や学校運営協議会、各イベントのスタッフなど、今後において人手不足が予想され、各関係機関と連携してしっかりやってほしいとの意見もあった。合宿受入れ態勢の充実では、受入施設の廃業や継承者不足の問題についても検討してほしいとの意見があった。

○三上部長

23事業、26調書について説明させていただいた。評価委員から様々な意見をいただいたが、本日の教育委員会会議で承認をいただいた後に議会に報告、公表という形になる。よろしくご審議いただきたい。

○泉山教育長

昨年度の事業の点検、評価について評価委員の皆さんに意見をいただいてまとめた。気になる点などがあればお願いしたい。

○山田委員

全体的にB評価が多いが、人口減少や少子化などで事業が縮小しているものに対しての評価なのか、あるいは金銭的な部分での評価なのか。

○三上部長

人口減によるものもあるし、財政的なものもある。事業の目標に対して一步及ばなかったという自己評価の部分もある。

○徳竹課長

スポーツイベントであれば、目標としていた参加人数に達してないというところでの評価のほか、合宿の受け入れ体制では、対前年では増えてきてはいるが思っているほどの伸びになっていない。宿の後継者問題など、この後起こりうる問題に対してスポーツ合宿の受け入れという立場からも旅館業との協議ができてないなど、数字に現れていないことも加味してのB評価という形にしている。

○山田委員

B評価にしたものには、解決策があるものと難しいものがあると思うが、こうなればいいだろうというのが全体的に見えてくれば少し明るい兆しがある。スポーツの方で言ったように、これから人を増やせばいいとか、手直しをして大会運営を効率化しようとかがあればいいが、それをできないような内容のものは将来性みたいなものを入れるべきなのかなと思う。

○加藤委員

結局どう改善していくかであると思う。目途があつてのB評価なのか、目処がない状態でのBなのか。見通しがある程度あつてということなのか。

○山田委員

朝日の中学校のあり方に関してB評価としたというのは、これから説明をきっちりしていくということからだと思うが、お金に絡んだりしているものになると、お金がなくてもこういう形でやっていきたいということであれば、継続しながらそこに繋がる話になる。人口減少もそうだしお金の問題もそうだし、解決できない問題を課題の中に入れちゃうと、ごまかしみたいな感じになってしまう。一生懸命やっているのに報われないみたいにならない形であればいいと思う。

○泉山教育長

私もこういう立場になって初めて評価を見て、やっぱり教育というのは数値に表れないものも多いのだと思う。取り組みと結果というのがあるが、例えば令和の日本語学校教育の推進については、これだけやっているのに全国学力テストはこんなに低いだろうと言ったら、BとかCになる。民間は目標数値があって、そこに達することができたかという観点での評価になる。人づくりや教育というのはそれだけじゃない。だから難しさがある。数値で分かる部分については客観的データを基に判断していくというのも一つの目安になるので、山田委員がおっしゃったように、この達成状況と成果と課題をしっかりと踏まえて次に活かしていく。B評価ならA評価にしていかなければならない、そういう課題意識をもって取り組んでいく必要がある。本市の教育の取り組み状況を評価するのか結果を評価するのか等を総合的に評価していくことになる。

○山田委員

博物館とか色々な施設を改修したが、課題はランニングコストと言ってB評価にしているように見えてしまうと、かかるものはかかるのだからそれを理由にBにする必要はない。必要性があってやっているのであればA評価でもいいのではないかなと思う。確かに足りないし大変だから次なんとか努力しようとして付度してBなのか、それとも積極的にやってそうかもしれないけどAなのかというところも垣間見えた方が力強いような報告にはなるのではないかな。みんな厳しいのは知っていると思うし、わかっていると思う。そんなの当然だと思っている人もいるけど、でもそういう余力みたいなものを出せたら安心するのではないだろうか。

○泉山教育長

予算の絡みがあるから難しいのかもしれないが、本評価をもっと早い時期に行うことができると、この論議が次の年に反映される。学校は年度末の2月、3月に評価・改善を行い、をして4月からは実践している。

○三上部長

基本的に決算が関連しなくていいのであれば可能だが、決算が6月末なのでどうしても7月になってしまう。

○加藤委員

早い時期にこれをまとめることが、皆さんできる余力があるのか、そこまで追い詰めて大丈夫かというところもある。早くした方がいいのはわかるが、それ全部出せる余力があるかっていうのは難しいと思う。働き方改革じゃないけど、これ以上詰めて大丈夫かという気もする。

○徳竹課長

中身は1年間やってきた内容や考え方というところなので早い時期でもできると思う。決算額の数字が固まるのがこの時期なので、金額はおおよそその数字で、最終的に決算が固まった時にここを確定する形であれば早くすることは可能なのかもしれない。決算と連動させるとなるとこの時期になると思う。

○山田委員

結局お金が絡むからこういう感じだろうと思うが、そのタイミングと中身のお金とのバランスがあるのでもうまくいってない。お金関係なしにその事業のことを考えて、教育のことを考えて社会のことを考えてとなるなら、気持ちいい書き方もできるからいいのかなと思う。その辺をもう少し工夫ができるならした方がいいと思う。

○加藤委員

社会教育の17ページ、最後の方で「研修旅費が確保されてない」とあるが、他の市町村はどうなのか。

過去に社会教育とかで各市町村が集まる機会があるとの話を聞いた。横の繋がりでのコミュニケーションで聞けたりもするので、そういう機会に参加してスキルを上げてもらって、各地の情報を仕入れてきた方がいいのではないかな。そこにお金を使うのは別にいいことだと思う。

○千葉課長

zoomでの研修とかもあるが、基本の講義だけ聞けるとなるとzoomではできないというのが、コロナが収まってからそういう風になってきた。コロナの時はそういう意見交換もできた。

○加藤委員

社会教育という分野はそういうのが大事なところではないのかなと思う。

次に、農業学習はずっとやってきているが、夏休みの間、子供たちは畑に水をやりに行ってたが、1番大事な時に手間がかかる時に見ていないと思っていた。発表を見に行くと子供たちはちゃんとそうやって教えてもらっていると思う。小規模校は子供たちが見に行くスパンが短い、市内の学校だと担当がなかなか回ってこないで成長具合を見てないっていうのがある。農業は確かに大事だと思うが、商工業があって成り立っている街なので、その辺も踏まえながらいろいろな学習機会をもたせてあげたらなと思った。

22ページの部活動のあり方について、全道的に進み具合はどうか。土別はまだ協議会ができてないが。

○三上部長

全道的にも進んでいるところもあるけれど進んでいないところもある。昨年度末に道教委から来ていただいて研修を受けたが、土別についてはまだ立ち上げていない状況である。

○加藤委員

部活動指導員について、そんなに簡単にいるのかという疑問がある。

○馬場代理

大学がある地域とない地域でも違うと思う。少子高齢化や人口減少がネックになっている市町村はなかなか都会と同じようには足並み揃えてはいけないと思う。

○加藤委員

そんな簡単なことではないと思う。各市町村において色々と課題とか人口の関連とかもあるし色々な問題もある。各市町村はかなり悩んでいると思う。

○馬場代理

ウィズについてだが、土別小学校、南小学校の1年生児童にひらがな音読検査を実施する、これは土小、南小に限り実施して他の小学校1年生には実施していないのか。

○三上部長

ことばの教室が土別小学校にあるので、そこに他の学校の子も来てもらっている。

○馬場代理

南小にもあるのか。

○三上部長

土小だけである。

○馬場代理

南小では個別に行っているのか。

○加藤委員

検査は全部土小で行っているはずだ。

○三上部長

この部分は確認する。

○馬場代理

現在、ウィズには何名が通っているのか。これは令和5年度だが、令和6年度現在で小学校、中学校でどれぐらい通っているのか。

○三上部長

毎年、年度当初は少ない。時間が経つとやっぱり学校に行けなくなってきてウィズに登録する子供たちが増えるので、いつ時点にするかというところがある。

○泉山教育長

現在4、5名が登録してるが、実際来るのは1日1人とか2人とか、全く来ない日もある。

○加藤委員

I C Tの関係で、ネットワーク環境はどうなのか。

○三上部長

クラスごとに使っている状態では問題ないが、全校生徒が一斉に使った場合にどうなるか。あとはこれから、デジタル教科書も含めていろいろな資料がデジタル化してきたときには更に重くなってくるし、そこが課題だと思う。通信環境のアセスメントが必要だという部分は、次の端末更新の時にアセスメントをやらなければならないので、それを盛り込んでいる。どういう環境なのかを調べないと次の端末更新も国のほうに乗れないというところがあるので、今年の補正予算で、以前の教育委員会会議で示した内容となっている。

○加藤委員

文科省自体が推進しているなら、通信基盤も国としてももう少し進めるべきだと思う。通信環境をまず推進してからの話だと思う。

○泉山教育長

今いただいたご意見で修正を行い、提出していくことでよろしいか。

(全員了承)

第21号議案 令和6年度士別市文化賞審議会に対する諮問について、説明を求める。

○千葉課長

士別市文化賞候補者推薦書を個人1名、1団体について添付している。教育委員会会議において今後の文化賞審議会へ諮問するかを協議していただきたい。

【協議内容については非公開】

○泉山教育長

文化賞については、個人1名を諮問の対象とすることでよろしいか。

(全員了承)

議案第22号 令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択について、説明を求める。

○岡田課長

議案の3ページ、来年度から使用する中学校教科用図書の採択については、7月23日に第3回目の協議会を士別市で開催し、上川管内の教育長様にお集まりいただき教科書の採択を行った。4ページに採択の内容、教科用図書が記載されており、国語から道徳まで記載のと通りの図書について採択となっている。

教育委員会会議で承認いただいた後にホームページへ掲載し公表するという予定になっている。

○泉山教育長

結果として、今使っている教科書の出版会社と変わりはないが、しっかり審議をしてこのようになっているのでよろしく願いたい。よろしいか。

(全員了承)

○泉山教育長

議案第23号 令和7年度から使用する高等学校教科用図書の採択について、説明を求める。

○岡田課長

議案の5ページから高等学校教科用図書の採択について記載している。8ページに教科書採択に関する観点を載せているが、これに基づいて東高校で協議、決定をしていただいた内容となっている。6ページ、7ページにその教科書を記載している。

○馬場代理

これは前年度と同じなのか。

○三上部長

使用歴の中で継続という記載がある。

○泉山教育長

高等学校の教科用図書については、このような形でよろしいか。

(全員了承)

議案第24号 令和6年度士別市教育委員会補正予算について、説明を求める。

○岡田課長

博物館公会堂展示館整備事業の補正予算で、事業の概要は博物館ボイラーの循環ポンプの故障及び老朽化による更新のため取り替え工事を実施するもので、補正理由は本年3月に異常を発見し、担当部署と最適な修繕方法を検討した結果、必要最低限の更新をするための経費を計上するものである。

○泉山教育長

補正予算についてはよろしいか。

(全員了承)

3 その他

◇令和6年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について

岡田課長説明、泉山教育長補足説明

◇市内小・中学校学芸会及び学校祭について

岡田課長説明

◇当面する今後の日程について

三上部長説明

午前11時00分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者

泉山 浩幸

会議録調整者

岡田 詔彦